文部科学省後援 PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2021　報告書

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

日程： 2021 年 8 月 6 日（金）～7 日（土）
（1 日目）練習 3 ラウンド、予選 1
（2 日目）予選 2、予選 3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝
会場：Zoom にてリモート開催（大阪府立大学内に本部設置）
主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会（ＰＤＡ）
後援：文部科学省
助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
協力：大阪府立大学

参加者数：401 名（54 校）

（北海道）札幌聖心女子学院高等学校（岩手県）岩手県立一関第一高等学校、岩手県立盛岡第一高等学校（栃木県）栃木県立佐野高等学校、 栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、作新学院高等学校（群馬県）高崎市立高崎経済大学附属高等学校（長野県）長野県伊那北高等学校、長野県長野高等学校、長野県屋代高等学校、長野県松本県ケ丘高等学校（富山県）富山国際大学付属高等学校（福井県）福井県立藤島高等学校（茨城県）東洋大学附属牛久高等学校（千葉県）翔凛高等学校（東京都）武蔵高等学校中学校、品川女子学院高等部、獨協高等学校、白百合学園高等学校、東京都立大泉高等学校、東京都立清瀬高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校（神奈川県） 浅野高等学校、栄光学園高等学校、湘南白百合学園高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立茅ケ崎北陵高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立大和高等学校（岐阜県）岐阜県立岐阜高等学校（愛知県）愛知県立半田高等学校（三重県）三重県立四日市高等学校（京都府）京都府立嵯峨野高等学校（大阪府）関西大倉高等学校、関西創価高等学校（兵庫県）神戸市立葺合高等学校、雲雀丘学園高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立相生高等学校、報徳学園高等学校（山口県）山口県立山口高等学校（徳島県）徳島県立城ノ内高等学校（愛媛県）愛媛県立松山東高等学校（福岡県）福岡県立城南高等学校、福岡県立東筑高等学校、福岡県立朝倉高等学校（熊本県）熊本県立第二高等学校、熊本県教育委員会（宮崎県）宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校（鹿児島県）鹿児島県立鹿児島中央高等学校、鹿児島県立大島高等学校
(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約 50 分としています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1：Cosmetic surgery should be banned.
（美容整形を禁止すべきである。）

論題 2：It is better to be single for life than to have a family.
（家族を持つより、生涯独身を遂げた方がよい。）

論題 3：China should abolish its restriction on the number of births.
（中国の出産数制限は撤廃すべきである。）

論題 4：Vaccination against COVID-19 should become mandatory.
（新型コロナウイルスのワクチン接種は、強制とすべきである。）

論題 5：Male employees should be forced to take parental leave.
（男性の育児休暇取得を強制すべきである。）

論題 6：School rule regarding appearances should be abolished.
（外見に関する校則は撤廃すべきである。）

論題 7：The Tokyo Olympics should have been cancelled.
（オリンピックは中止すべきであった。）

論題 8：Teleworking makes people happy.
（テレワークは人々を幸せにする。）

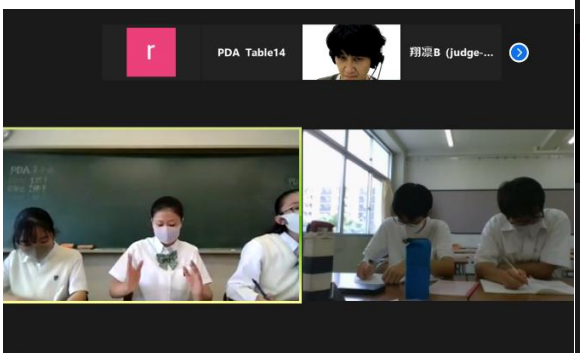
1 日目

開会式では、まず今回の参加校の紹介がなされました。カメラとマイクのチェックも兼ねて学校の名前が呼ばれると挨拶をしました。スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、生徒（授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般）、教員（初心・一般、認定、受験）の部が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとしています。

練習ラウンド１の論題は「美容整形を禁止すべきである」です。教員の部はラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート（アイデア出しシート）にメモしていきました。ディベートが終わると、他校の生徒と自己紹介をし、現在の学校の状況などを話し合う姿が見られました。

練習ラウンド２の論題は「家族を持つより、生涯独身を遂げた方がよい」です。生徒自身が将来独身か家族を持つかを意識しており、自身の考えに基づいて議論を展開する様子が見られました。

練習ラウンド３の論題は「中国の出産数制限は撤廃すべきである」です。ラウンド２と同様の家族に関する議論や中国全体としての労働人口に関する議論が見られました。




**練習ラウンドの様子①**

**練習ラウンドの様子②**

**練習ラウンドの様子③**

**練習ラウンドの様子④**

教員ラウンドの様子①

教員ラウンドの様子②

また、練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習をしました。ジャッジを務めることが初めてという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジレクチャーの動画を参考に、客観的な視点でディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベータを体験すると同時にジャッジの練習をする機会が設けられました。

一日目の最後は、生徒の予選１です。予選１の論題は「新型コロナウイルスのワクチン接種は、強制とすべきである」です。練習ラウンドでディベータやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。新型コロナウイルスの影響下に入ってから 1 年以上が経ち、実際にワクチン接種をする前の立場である生徒たちにとっても避けて通れない大切な議論となりました。

予選ラウンド１の様子①

予選ラウンド１の様子②

２日目

２日目は朝から予選２が始まります。予選２の論題は「男性の育児休暇取得を強制すべきである」です。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等の積極的なディベートへの参加が見られました。

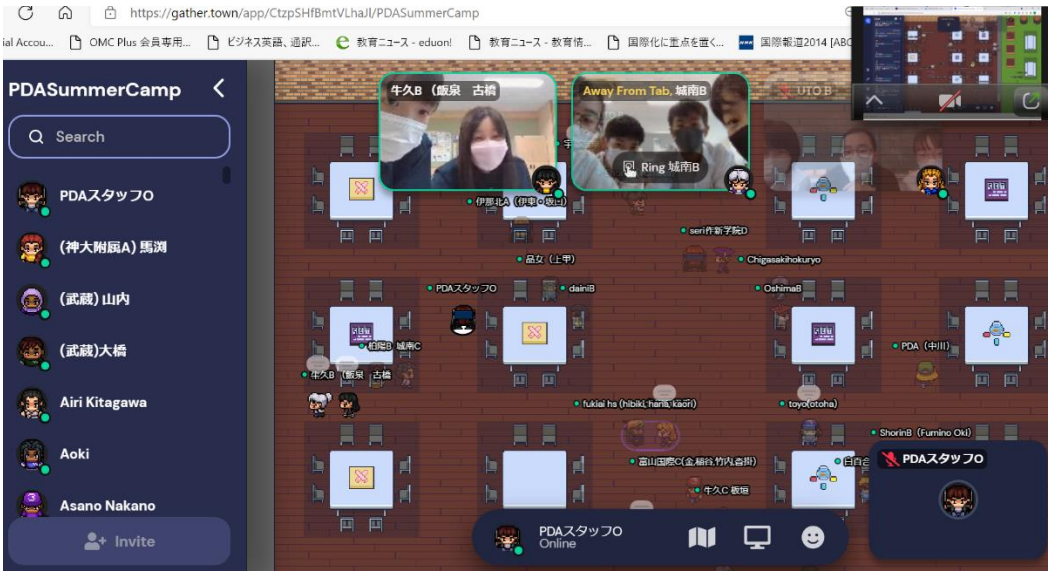
予選ラウンド２の論題発表

続いて、予選ラウンド２の論題に関するキーノートレクチャーを大阪府立大学の巽真理子先生にしていただきました。普段よりジェンダーによる扱いの差を意識する機会が多い生徒たちは興味津々に聞いており、質疑応答もとても活発に行われました。

**キーノートレクチャー後、質疑応答の様子**

予選 3 の論題は「外見に関する校則は撤廃すべきである」です。今までの論題の中で最も生徒たちが身近に感じる内容として、友人やクラスメイトの具体例が多く飛び交いました。

昼食前に、ビデオ通話システム Gather.town を用いたレクリエーションが行われました。Gather.town はウェブ上の仮想空間の中で他のユーザーと近づくと会話ができるシステムで、公式の学術学会等でも使用されています。勝てばポイントがもらえるじゃんけん大会やヒントを出し合う謎解きなどで生徒たちは交流を楽しみました。先生や PDA スタッフもじゃんけんに参加し、生徒に挑まれていました。




**レクリエーションの様子（じゃんけんで交流しています）**

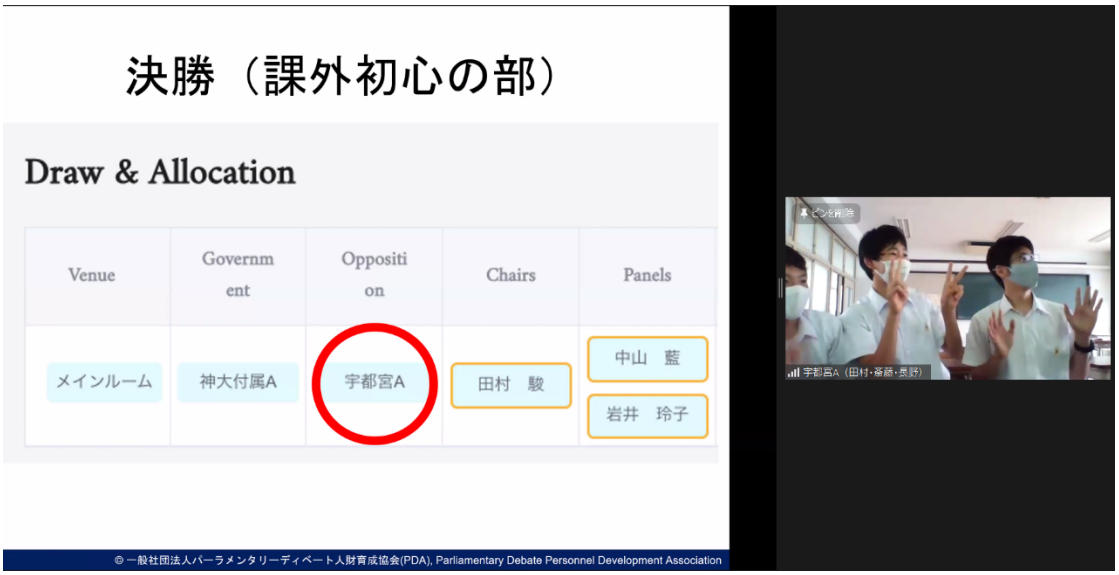
**レクリエーションの様子（事前に郵送された謎解きカードを持っています）**

そのあと昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「オリンピックは中止すべきであった」です。予選ラウンドの議題に引き続き、新型コロナウイルスの影響下で開催されているオリンピックについての論題です。まさに今日行われている東京オリンピックについてリアルタイムな事例も取り入れ、生徒の真剣な意見が交わされました。

準決勝の様子

いよいよ決勝です。決勝の論題は「テレワークは人々を幸せにする」です。2 日間オンラインで開催された本大会の最後にふさわしい議論が交わされ、出場者は皆堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、準決勝や決勝では見学生徒自身も勝敗を出せるよう真剣に観戦しました。

**決勝戦の様子**




受賞の喜びをチームメイトと分かち合う

参加者の皆さんと

結果

チーム賞（授業の部）

優勝：　作新学院高等学校 A

準優勝：札幌聖心女子学院高等学校 A

３位：　作新学院高等学校 B

札幌聖心女子学院高等学校 B

チーム賞（課外活動の部　初心者）

優勝：　栃木県立宇都宮高等学校 A

準優勝：神戸大学附属中等教育学校 A

チーム賞（課外活動の部　一般）

優勝：　聖光学院高等学校

準優勝：神奈川県立柏陽高等学校 B

3 位：　栄光学園高等学校 B

栄光学園高等学校 C

**聖光学院高等学校チーム**

ベストディベータ賞（授業の部）

- 牛久 A　＿＿＿＿＿＿
- 牛久 C　＿＿＿＿＿＿
- 城南 B　＿＿＿＿＿＿
- 熊本第二 A　＿＿＿＿＿＿
- 武蔵 B・朝倉　＿＿＿＿＿＿

ベストディベータ賞（課外活動の部　初心者）

- 神大附属 A　＿＿＿＿＿＿☆
- 嵯峨野　＿＿＿＿＿＿☆
- 大島 A　＿＿＿＿＿＿
- 神大附属 B　＿＿＿＿＿＿
- 四日市　＿＿＿＿＿＿
- 長野 A　＿＿＿＿＿＿
- 藤島 A　＿＿＿＿＿＿
- 柏陽 A　＿＿＿＿＿＿
- 武蔵 A　＿＿＿＿＿＿
- 翔凛 A　＿＿＿＿＿＿
- 宇都宮 B　＿＿＿＿＿＿
- 宇都宮 A　＿＿＿＿＿＿
- 佐野 A　＿＿＿＿＿＿
- 一関第一 B　＿＿＿＿＿＿

ベストディベータ賞（課外活動の部　一般）

- 聖光 _____☆
- 相模原 C _____☆
- 栄光 C _____☆
- 一関第一 C _____☆
- 大島 D _____
- 城ノ内 A _____
- 葺合 _____
- 藤島 D _____
- 湘南 B _____
- 湘南白百合 A _____
- 柏陽 D _____
- 柏陽 B _____
- 栄光 A _____
- 栄光 A _____
- 白百合 A _____
- 翔凛 C _____
- 佐野 C _____

ベスト POI 賞（授業の部）

- 札幌聖心 B _____☆
- 武蔵 B・朝倉 _____
- 熊本第二 A _____
- 城南 B _____
- 城南 A _____
- 作新 B _____
- 作新 A _____

ベスト POI 賞（課外活動の部　初心者）

- 茅ケ崎北陵 B _____☆
- 神大附属 A _____
- 嵯峨野 _____
- 松本県ヶ丘 B _____
- 伊那北 B _____
- 品川女子 _____
- 宇都宮 B _____
- 佐野 A _____
- 一関第一 A _____

ベスト POI 賞（課外活動の部　一般）

- 湘南白百合 A _____☆
- 作新 D _____☆
- 一関第一 C _____☆
- 大島 D _____
- 城ノ内 A _____
- 関西創価 _____
- 松本県ヶ丘 D _____
- 藤島 D _____
- 藤島 B _____
- 富山国際 C _____
- 柏陽 C _____
- 柏陽 B _____
- 栄光 C _____
- 栄光 B _____
- 栄光 A _____
- 翔凛 C _____

※☆は 3 回選ばれた生徒

アンケート（抜粋）

生徒の声

- 本当に貴重な経験をありがとうございます。キーノートレクチャーがためになりました。様々な観点でmotionが出て、いろんな観点について深められました。（神奈川県立相模原高等学校・2年）
- このような大きな全国の即興の練習試合に参加するのは初めてだったため、とても楽しみにしていました。実際に参加して、学ぶことが多く、とても貴重な経験になりました。運営にあたってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです！ありがとうございました。この 2 日間で学んだことを生かして全国大会に出場できるように頑張りたいと思います。（鹿児島県立鹿児島中央高等学校・2年）
- とても楽しかったです。自分がやるのも楽しかったですが、準決、決勝を見るのもとても楽しかったです。（神奈川県立柏陽高等学校・1年）
- 初めての大会だったので、緊張しました。まだまだ改善が必要な所が見つかり、参加してよかったと思いました。12月に向けて、改善していきたいと思います！　（福岡県立東筑高等学校・2年）
- 今後のディベートにつながる良いアドバイス、経験ができたのでとても良かった。また、レクリエーションを通して他校の生徒と交流できたのも良い経験になった。（東洋大学附属牛久高等学校・1 年）
- すごい強いグループとあたり続けたので勉強になりました。また次の試合に向けて頑張りたいです。特に予選ラウンド①のジャッジの方がすごくわかりやすくお話してくださって非常に勉強になりました。（長野県松本県ヶ丘高等学校・1年）
- 今回の予選ではあまり良い結果を残すことができなかったのでとても悔しい思いをした。先生などに言われたコメントを元にこれから練習していきたいと思う。（鹿児島県立大島高等学校・2年）
- 最初はズームだと聞いて少しがっかりした部分もありましたが、まるで出場者がその場にいるようなレクリエーションの工夫、試合の緊迫感など、大会関係者の努力が実ったことで素晴らしい大会になったかと思います。（栃木県立宇都宮高等学校・1年）
- 初参加で、最初に仲間に誘ってもらったとき、不安しかありませんでしたが、誘いを受けたことに後悔はありません。英語力が上がった実感があり、今後に活かせそうです。素敵な合宿に参加させていただき、ありがとうございました！（作新学院高等学校・2年）
- 多くのディベートを通して、仲間とより親しくなれたし、レベルの高い人とも何度も試合ができて学ぶ事がとても多く、さらに試合ごとにチーム内で反省ができ、とても有意義だった。（岐阜県立岐阜高等学校・2年）
- 3年の私にとって最後の公式試合でしたが、全国の様々な高校と交流を深めることができ、ディベートでは立論の仕方や多角的な考え方など新たに学んだことがたくさんありました。大学や社会に出てからなど今後に活かせることをたくさん身につけることができたと思います。（神奈川県立茅ケ崎北陵高等学校・3年）
- 大会はレベルごとに対戦が違かったので、学べることもあったし、一般では味わえなかった勝利の喜びも感じることが出来て良かったです。（長野県屋代高等学校・1年）
- レベルの高い皆さんの中で二日間ディベート漬けの日を過ごして、ものの見方、相手へ自分の意見の伝え方、人の話しを聞く力、など様々なことを学ぶことができました。もともとディベートで何もしゃべれなくて大嫌いだった自分がだんだんディベートが楽しいと感じていることに気づきました。ありがとうございました。（白百合学園高等学校・2年）
- 大学進学後にもディベートは続けたいと思っていて、ディベート大会の運営やジャッジをすることにも興味があります。まだ、分からない事ばかりなので運営に参加できるかは大学生になるまで分りませんが、今の所、チャンスがあれば参加してみたいと思っています。（徳島県立城ノ内高等学校・2年）

- （ジャッジ体験について）やってる側だと余裕がなくて落としているところまで聞けたし、どう比較してどう対立してるかなどをちゃんと落ち着いて考えられたからです。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- （レクリエーションについて）今回のようなゲームはとてもいいと思います。これをきっかけに新たにGatherTownのことも知られたように、生徒の皆さんに学習や交流で使ってほしいコンテンツをこれからも提供していただけると幸いです。（関西大倉高等学校・3年）
- 2 日間を通し、参加費を大きく上回る価値の体験ができたのではないかと思います。今後の授業に活かしたいことがたくさんありました。楽しかったです。（長野県伊那北高等学校・3年）

教員の声

- コロナ渦でも積極的に大会を続けていただき、感謝いたします。
- 毎年ぜひ続けてほしいです。本当に良い機会でした。ありがとうございます。うちの生徒が、本当にかっこよく見えました！
- 大変ありがとうございました。受験コースを選んで良かったです。気合の入れ方が違っていました。最近できないことが増えてきたのですけれども、スピーチでは、明らかに自分が向上していくのがわかり、まだもう少しやれるやんみたいな変な自信がわきました。ジャッジは、相変わらず難しく時間内にコメントを言うことができなかったのですけれどもこれはまた自分の課題を克服するために頑張ればいいわけであって新たな目標も見つかったのでとても良かったと思います。生徒よりも自分の方がすごくためになりました。本当にありがとうございました。
- 企画、運営お疲れ様でした。今回も「日々のアップデート」に大いに役立ちました。ありがとうございました😊
- （オンラインディベートのいい点について）遠くても沢山参加できる、コストレス　教師が生徒を把握しやすい。
- 自分の研修として参加させて頂きました。実は、ジャッジの経験がなく、生徒の試合を自分でもジャッジしながらジャッジの先生がフィードバックするのとかを「ふむふむ☺」って聞いているものと(勝手に)思っていたのが、実際に自分でもすると分かったときや、初心者ではなく課外一般のジャッジになった時、血の気が引いて、あと少しで「とても無理です。誰かと変えてください」とメールを送りそうなほどパニックでしたが、結論から言うと逃げずにやってよかったと思います。拙いジャッジで生徒さんにはもしかして申し訳ないことをしたかもしれませんが、ものすごく勉強になりました。自分でラウンドもし、ジャッジもすることで、PDA講習会で生徒が頂いたフィードバックが腑に落ちる感がありました。
- 最後チェアさせていただいて、感謝です。様々な先生、生徒さんと交流させていただき、貴重な経験でした。
- 論題など、随所に授業に取り入れようという工夫が見られて良かった。教員ラウンドを多く担当したが、教員、そしてもちろん生徒も含めて、今後もディベート界が盛り上がっていくことを願っています。
- 運営スタッフの方々には、400 名を超える参加者を動かすのは相当ご苦労があったかと存じます。そんな中、検定も含めてスムーズに進行していただき、大変感謝しております。
- 運営の皆様、本当にお疲れ様でした。トラブルに丁寧に対応され、ご苦労も多かったことと思います。生徒の満足そうな顔、悔しそうな顔を見て、有意義な２日間が送れたと実感しております。 次はジャッジの試験を受けてみたくなりました。生徒と一緒に頑張っていきたいと思います。
- 昔県の研修で中川先生の講演に参加して以来ずっとディベートの指導をしたいと思っていましたが、今回の大会でようやく一歩目が踏み出せました。スタッフの皆様ありがとうございました。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。　　以上